

改定率(案)	使用料単価 (円/㎡) (R3年度決算 112円)	指標に基づく評価			使用料の試算（現行の使用料体系に基づく試算・税抜）					
		経費回収率	現金残高	一般会計繰入金 (収支不足補填分)	20㎡/月の場合の見込額 (現行:2,060円)		150㎡/月の場合の見込額 (現行:16,350円)		1,500㎡/月の場合の見込額 (現行:182,200円)	
		10年で 100%達成を 目標とする	運転資金を除く 現金残高が マイナスにならないこと	発生しないこと	改定1回目	改定2回目	改定1回目	改定2回目	改定1回目	改定2回目
A案 経営戦略に基づく案 1回目(R5)改定率 17% ↓ 2回目(R10)改定率 14.5%	1 回目：131円 (+19円) ↓ 2 回目：150円 (+19円)	○	○	○	2,410 円 (+350 円)	2,760 円 (+350 円)	19,190 円 (+2,840 円)	22,030 円 (+2,840 円)	213,390 円 (+31,190 円)	244,580 円 (+31,190 円)
B案 1回目の改定率を A案よりも低く設定した案 1回目(R5)改定率 15% ↓ 2回目(R10)改定率 16.5%	1 回目：129円 (+17円) ↓ 2 回目：150円 (+21円)	○	○	○	2,360 円 (+300 円)	2,760 円 (+400 円)	18,750 円 (+2,400 円)	22,030 円 (+3,280 円)	209,400 円 (+27,200 円)	244,580 円 (+35,180 円)
参考1 改定回数を1回とし、 1回目の改定で 使用料単価を150円に 1回目(R5)改定率 34%	1 回目：150円 (+38円)	○	○	○	2,760 円 (+700 円)	- -	22,030 円 (+5,680 円)	- -	244,580 円 (+62,380 円)	- -
参考2 1回目の改定率を 前回使用料改定並みに 1回目(R5)改定率 10% ↓ 2回目(R10)改定率 16.5%	1 回目：123円 (+11円) ↓ 2 回目：150円 (+27円)	○	×	×	2,260 円 (+200 円)	2,760 円 (+500 円)	17,950 円 (+1,600 円)	22,030 円 (+4,080 円)	200,500 円 (+18,300 円)	244,580 円 (+44,080 円)

資料 2

単位:千円

(指標欄に表示がある場合を除く)

改定率(案)	改定率(案)の特徴	指標	今回の審議会における使用料算定期間					次回審議会(R9年度予定)における使用料算定期間				
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
現行の使用料	・経費回収率は改善せず75%のまま推移する。 ・令和8年度から現金残高（運転資金を除く）がマイナスになり、資金面で事業の運営に支障をきたす。 ・令和6年度から一般会計繰入金（収支不足補填分）が発生する。	使用料単価（円／㎡）	112	112	112	112	112	112	112	112	112	112
		経費回収率（%）	75%	75%	75%	75%	75%	75%	75%	75%	75%	75%
		使用料収入	373,152	373,497	371,788	371,084	370,380	370,661	368,930	368,198	367,452	367,710
		当年度純損失	-126,024	-126,142	-125,564	-125,327	-125,090	-125,184	-124,600	-124,352	-124,100	-124,187
		当年度未処理欠損金	-318,273	-444,415	-569,979	-695,306	-820,396	-945,580	-1,070,180	-1,194,532	-1,318,632	-1,442,819
		現金残高（運転資金を除く）	37,263	3,691	6,693	-17,808	-36,686	-44,300	-53,474	-71,327	-85,473	-106,728
		一般会計繰入金（総額）	1,081,374	1,095,959	1,159,201	1,118,645	1,095,125	1,070,763	1,069,395	1,092,336	1,036,729	1,028,424
		一般会計繰入金（収支不足補填分）	0	71,859	69,978	58,251	7,970	32,804	45,235	86,721	0	0
A案 経営戦略に基づく案 1回目(R5)改定率17% ↓ 2回目(R10)改定率14.5%	・ <u>経営戦略に基づき、2回の改定とした上で1回目と2回目の改定額を均等にした案。</u> ・経費回収率は75%から87%まで改善する。 ・現金残高（運転資金を除く）がマイナスにならない。 ・一般会計繰入金（収支不足補填分）が発生しない。	使用料単価（円／㎡）	131	131	131	131	131	150	150	150	150	150
		経費回収率	87%	87%	87%	87%	87%	100%	100%	100%	100%	100%
		使用料収入	436,587	436,992	434,991	434,168	433,345	496,556	494,237	493,257	492,256	492,602
		当年度純損失	-62,589	-62,647	-62,361	-62,243	-62,125	0	0	0	0	0
		当年度未処理欠損金	-254,838	-317,485	-379,846	-442,089	-504,214	-504,214	-504,214	-504,214	-504,214	-504,214
		現金残高（運転資金を除く）	100,698	60,590	56,575	36,711	72,968	159,325	232,189	254,264	365,306	471,828
		一般会計繰入金（総額）	1,081,374	1,024,092	1,089,223	1,060,394	1,087,155	1,037,248	1,023,453	1,004,908	1,036,025	1,027,719
		一般会計繰入金（収支不足補填分）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B案 1回目の改定率をA案よりも低く設定した案 1回目(R5)改定率15% ↓ 2回目(R10)改定率16.5%	・ <u>A案をベースに1回目の改定率を健全経営を維持する上で最低限必要な改定率15%に設定した案。</u> ・ <u>A案と比べて1回目の改定額は小さくなるが、2回目の改定額は大きくなる。</u> ・経費回収率は75%から86%まで改善する。 ・A案と同様、現金残高（運転資金を除く）がマイナスにならない。 ・A案と同様、一般会計繰入金（収支不足補填分）が発生しない。	使用料単価（円／㎡）	129	129	129	129	129	150	150	150	150	150
		経費回収率	86%	86%	86%	86%	86%	100%	100%	100%	100%	100%
		使用料収入	429,124	429,522	427,556	426,746	425,937	496,593	494,274	493,293	492,293	492,639
		当年度純損失	-70,052	-70,117	-69,796	-69,665	-69,533	0	0	0	0	0
		当年度未処理欠損金	-262,301	-332,418	-402,214	-471,879	-541,412	-541,412	-541,412	-541,412	-541,412	-541,412
		現金残高（運転資金を除く）	93,235	45,441	33,775	6,274	34,908	121,051	193,915	215,990	327,032	433,554
		一般会計繰入金（総額）	1,081,374	1,024,092	1,089,223	1,060,394	1,087,155	1,037,211	1,023,416	1,004,872	1,035,988	1,027,682
		一般会計繰入金（収支不足補填分）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※使用料体系については、第3回審議会で審議予定

※2回目の改定率については、令和9年度開催予定審議会で改めて検討

下水道使用料 改定率(参考)

資料 3

単位:千円

(指標欄に表示がある場合を除く)

改定率(参考)	改定率(参考)の特徴	指標	今回の審議会における使用料算定期間					次回審議会(R9年度予定)における使用料算定期間				
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
参考1 改定回数を1回とし、 1回目の改定で 使用料単価を150円に 1回目(R5)改定率 34%	・改定回数を1回とし、1回目の改定で使用料単価を150円／m ³ 、経費回収率100%を達成するよう試算。 ・改定による使用者負担が最も大きい。 ・令和5年度から当年度純損失は生じなくなる。 ・現金残高（運転資金を除く）が令和5年度以降、増加していく。 ・一般会計繰入金（収支不足補填分）が発生しない。	使用料単価（円／m ³ ）	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
		経費回収率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		使用料収入	500,023	500,486	498,195	497,252	496,310	496,686	494,367	493,385	492,385	492,731
		当年度純損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		当年度未処理欠損金	-192,249	-192,249	-192,249	-192,249	-192,249	-192,249	-192,249	-192,249	-192,249	-192,249
		現金残高（運転資金を除く）	163,287	187,637	247,795	291,978	392,161	480,316	553,180	575,255	686,297	792,819
		一般会計繰入金（総額）	1,080,527	1,023,245	1,088,380	1,059,553	1,086,315	1,037,118	1,023,323	1,004,780	1,035,896	1,027,590
		一般会計繰入金（収支不足補填分）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
参考2 1回目の改定率を 前回使用料改定並みに 1回目(R5)改定率 10% ↓ 2回目(R10)改定率 16.5%	・A案をベースに1回目の改定率を前回の使用料改定率（約10%）と同程度に設定して試算。 ・令和8・9年度に現金残高（運転資金を除く）がマイナスになり、資金面で事業の運営に支障をきたす。 ・令和7・8年度に一般会計繰入金（収支不足補填分）が必要。収支不足分を下水道を使用しない方たちが納めた税金で補填することになる。	使用料単価（円／m ³ ）	123	123	123	123	123	150	150	150	150	150
		経費回収率	82%	82%	82%	82%	82%	100%	100%	100%	100%	100%
		使用料収入	410,467	410,847	408,966	408,192	407,418	497,427	495,104	494,122	493,120	493,466
		当年度純損失	-88,709	-88,792	-88,386	-88,219	-88,052	0	0	0	0	0
		当年度未処理欠損金	-280,958	-369,750	-458,136	-546,355	-634,407	-634,407	-634,407	-634,407	-634,407	-634,407
		現金残高（運転資金を除く）	74,578	7,569	6,774	-17,808	-7,618	77,989	150,853	172,928	283,970	390,492
		一般会計繰入金（総額）	1,081,374	1,024,092	1,119,225	1,081,537	1,087,155	1,036,377	1,022,586	1,004,043	1,035,161	1,026,855
		一般会計繰入金（収支不足補填分）	0	0	30,002	21,143	0	0	0	0	0	0

※使用料体系については、第3回審議会で審議予定

※2回目の改定率については、令和9年度開催予定審議会で改めて検討